

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 3 区分

【発行日】平成 26 年 4 月 10 日 (2014.4.10)

【公開番号】特開 2012-180492 (P2012-180492A)

【公開日】平成 24 年 9 月 20 日 (2012.9.20)

【年通号数】公開・登録公報 2012-038

【出願番号】特願 2011-46122 (P2011-46122)

【国際特許分類】

C 0 9 C 1/62 (2006.01)

C 0 9 C 1/64 (2006.01)

C 0 9 D 201/00 (2006.01)

C 0 9 D 7/12 (2006.01)

C 0 9 D 11/00 (2014.01)

【 F I 】

C 0 9 C 1/62

C 0 9 C 1/64

C 0 9 D 201/00

C 0 9 D 7/12

C 0 9 D 11/00

【手続補正書】

【提出日】平成 26 年 2 月 25 日 (2014.2.25)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

金属粒子表面に化学結合もしくは吸着した、ハロゲン化アルキル基を含む化合物を開始剤とするリビングラジカル重合体組成物を含有する金属顔料組成物。

【請求項 2】

金属粒子が光輝性金属顔料である請求項 1 に記載の金属顔料組成物。

【請求項 3】

金属粒子がアルミニウムである請求項 1 又は 2 に記載の金属顔料組成物。

【請求項 4】

金属粒子が、平均粒径 (d50) が 3 から 40 μm の範囲、平均厚み (t) が 0.005 から 2 μm の範囲、平均アスペクト比が 20 から 2500 の範囲から選ばれる鱗片状粒子である請求項 1 から 3 のいずれかに記載の金属顔料組成物。

【請求項 5】

リビングラジカル重合体組成物が金属粒子を被覆している請求項 1 から 4 のいずれかに記載の金属顔料組成物。

【請求項 6】

金属粒子表面に化学結合もしくは吸着した化合物が、1 分子中に金属表面への結合もしくは吸着機能を有する官能基とリビングラジカル重合機能を有する官能基を共に有する、請求項 1 から 5 のいずれかに記載の金属顔料組成物。

【請求項 7】

リビングラジカル重合体組成物が、アクリル系もしくはビニル系樹脂から選ばれる少なくとも一種である、請求項 1 から 6 のいずれかに記載の金属顔料組成物。

【請求項 8】

リビングラジカル重合体組成物が、金属粒子 100 重量部に対し、0.05 から 10 重量部存在する、請求項 1 から 7 のいずれかに記載の金属顔料組成物。

【請求項 9】

金属粒子を、先ず 1 分子中に金属表面への結合もしくは吸着機能を有する官能基とリビングラジカル重合開始機能を有する官能基を共に有する化合物で処理し、更に溶媒中で重合性モノマーを重合する、請求項 1 から 8 のいずれかに記載の金属顔料組成物の製造方法。

【請求項 10】

請求項 1 から 8 のいずれかに記載の金属顔料組成物を含む、塗料組成物。

【請求項 11】

請求項 1 から 8 のいずれかに記載の金属顔料組成物を含む、インキ組成物。

【請求項 12】

請求項 10 に記載の塗料組成物により形成された塗膜。

【請求項 13】

請求項 10 に記載の塗料組成物により塗装された物品。

【請求項 14】

請求項 11 に記載のインキ組成物により形成された印刷物。